

## ウォークマン歴史年表

年	代表機種	ウォークマン特記事項
1979	一号機「TPS-L2」(7/1) ¥33,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/22:代々木公園で発表会</li> <li>・秋から年末にかけて爆発的人気に。品切れが続く</li> </ul>
1980		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークマン、ローラースケート、デジタルウォッチが“新三種の神器”に</li> <li>・カラヤンが愛用し話題に</li> </ul>
1981	「WM-2」(ウォークマンの普及に貢献)	仏の大辞典“Petit Larousse”に“Walkman”掲載
1982		ソニーがCD発売
1983	「WM-20」(初のカセットケースサイズ)	
1984	“ディスクマン”「D-50」(CDの普及に貢献) ¥49,800	・累計出荷 1000万台(6月)
1985	「WM-101」(ガム型充電池を初めて採用)	
1986	「WM-109」(初のリモコン搭載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・累計出荷 2000万台(6月)</li> <li>・Oxford English Dictionary に“Walkman”掲載</li> </ul>
1987	「WM-501」(カセットケースサイズを下回る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・累計出荷 3000万台(6月)</li> <li>・猿のウォークマンで チョロ松大人気</li> <li>・米スミソニアン博物館に 永久展示</li> </ul>
1988	「WM-505」(初のワイヤレスヘッドホン)	・累計出荷 4000万台(7月)
1989		・累計出荷 5000万台(6月)
1990	「WM-805」(初のワイヤレスリモコン) DAT ウォークマン「TCD-D3」	
1992	MD ウォークマン「MZ-1」¥79,800 「MZ-2P」¥59,800	
1993		・累計出荷 1億台(1月)
1994	15周年モデル「WM-EX1」,「WM-EX1HG」	・環境を考慮し、パッケージにバガス紙(非木材)採用(WM-EX511)
1996	「WM-EX5」 (ミラーフェースの“美ウォークマン”)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・累計出荷 1.5億台(4月)</li> <li>・ビーンズウォークマンの登場でカジュアルモデルが目立つ</li> </ul>
1997		<ul style="list-style-type: none"> <li>・“ディスクマン”の名称が“CDウォークマン”に変更(国内 97/10~98/3 発売のラインナップより)</li> </ul>
1998	「WM-EX9」(100時間連続再生)	
1999	20周年記念モデル4機種 「WM-WE01」(テープ), 「D-E01」(CD), 「MZ-E80」(MD), 「MDR-EX70SL」(ヘッドホン) ネットワークウォークマン「NW-MS7」	・累計出荷 1.86億台(1998年度末)
2001	Net-MD対応「MZ-N1」	CD・音楽配信サービスからパソコンに記録した音楽をMDへ手軽に取り込むことが出来る「Net MD」規格を市場に導入。
2002	MD10周年記念モデル 「MZ-N10」,「MZ-E10」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MZ-N10」:1号機「MZ-1」に比べ、重さ・サイズ共に約8分の1を実現。使い勝手も一層向上。</li> <li>・植物原料プラスチックを筐体に採用したウォークマン登場</li> </ul>
2003	ATRAC3plus再生対応CDウォークマン一号機「D-NE1」	CDウォークマンもネットワークオーディオ対応へ。
2004	Hi-MD規格対応ウォークマン「MZ-NH1」 HDD搭載ネットワークウォークマン「NW-HD1」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多岐に渡るユーザーニーズに応え、Hi-MD、HDD内蔵のウォークマン登場。国内「Mora」、海外「Connect Music Store」等の音楽配信サービスとのトータルソリューションを一層充実したもの。</li> <li>・累計出荷 3.4億台(2003年度末)</li> </ul>